

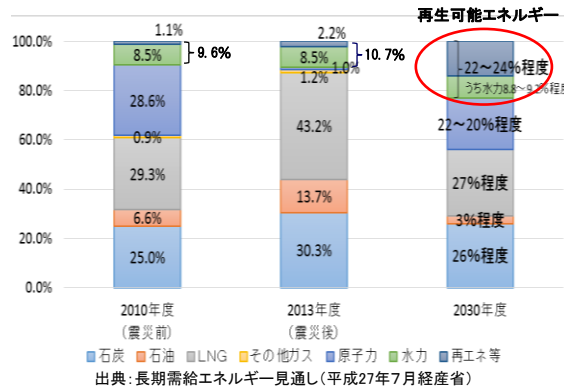
# 再生可能エネルギーの導入促進

## 現状

### 【長期エネルギー需給見通し】

(平成27年7月)

- 重要な低炭素の国産エネルギー源である再生可能エネルギーについて、国民負担抑制の観点も踏まえた上で、各電源の個性に応じた最大限の導入拡大を図る。
- 2030年度の電源構成に占める再生可能エネルギーの導入水準として22～24%程度を見込む。



## 課題

### 【地域の状況】

- 本県のように再生可能エネルギー資源が豊富に存在するものの、電力需要の少ない中山間地域を多く抱えている地域では、送電網が脆弱であるため、地域の大部分で系統連系制約が発生。

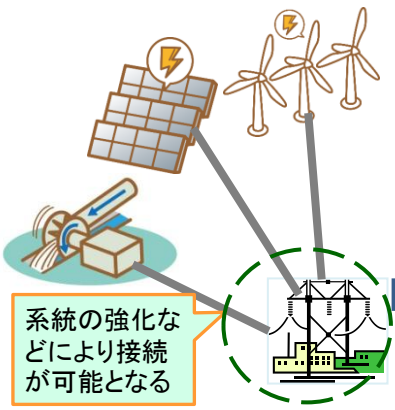
高知県内の電力系統の状況  
(66kV,110kV以下の特高系統)



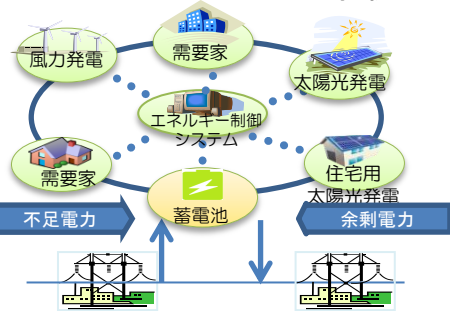
## 対応

### 1 系統連系対策の強化

### 2 国民負担抑制の観点も踏まえ、地域で創った再生可能エネルギーを地域で消費する地産地消の促進



＜蓄電池の組み合わせによる再生可能エネルギーの導入拡大＞



＜ZEHなどによる自家消費の促進＞



## 提言内容 1

2030年度の電源構成における再生可能エネルギーの導入水準22～24%を早期に達成し、さらなる導入拡大を図るためには、送電網の脆弱な地域における系統連系対策の強化が必要

## 提言内容 2

蓄電池との組み合わせによる導入拡大やZEHによる自家消費など地域で創った再生可能エネルギーを地域で消費する地産地消を推進する取組への支援の充実が必要

補助対象となる事業の拡大  
や蓄電池への補助の充実